



# 薬学部近況報告

薬学部長 今村信孝



二〇〇八年にそれまでの応用化学科、化学生物工学科、生命情報学科を基に、薬学部と生命科学部が創設されました。薬学部も旧化学科を源流とする一連の流れの中で生まれた学部ですので、卒業生は化友会の一員に加わることになっています。薬学は化学のみならず、生物学を基盤学問領域とし、クスリという化学物質をヒトという生物の健康のための医療行為に役立てようとする実学です。複合領域で学ぶべき事が多いこそ、また近代の医療の高度化も相俟つて、学生には多くの知識・技術の修得を求められる分野です。

我国の薬学教育は、二〇〇六年から四年制と六年制の二つの教育システムに分けられています。意外に思われるかも知れませんが、四年制が研究者養成、六年制は医療従事者、即ち薬剤師養成が主な教育目

報告 今村信孝

的とされています。本学六年制薬学部は国内最後発の薬学部で、定員割れが多い後発薬学部・薬科大の中で、異例なことに多くの受験生を集めています。今年発表された予備校の偏差値では、私立五十七薬系大学中、東京理科大と肩を並べ、慶應に次ぐ全国第二位となり、優秀な学生層が入学してきています。まだ卒業生を輩出していない段階で、このようないい評価を得られるのは、ひとえに立命館というブランドの力であり、諸先輩方の御努力の賜物と感謝する次第です。また、開設以来、施設の増設、実務系教員の補充、教員のFD活動などの六年制薬学教育力の強化を図ってきたことも、受験生の高評価の一因になつていていると考えております。

本学にとって初の医療系で国家試験合格を目指とする六年制の学部、また薬学教育経験者が教員に少ない上に、六年制新制度自体に不確定な要素もあった等々、多くの不安材料を抱えたままの薬学部の船出でありますましたが、完成間近までどうに相当する学力試験と実技試験を、年

前に四年生対象に学内で実施します。五年生での合計五ヶ月に及ぶ病院、薬局実務実習でも、現場の薬剤師さん達から本学学生への高い評価を得ており、六回生の就職活動もすこぶる順調です。六回生は八月下旬に卒論発表を行い、国家試験へ向けて猛勉強中です。薬学部設置完了までに残る関門は、来春三月初めに行われる一期生の薬剤師国家試験で本学薬学部の教育力への客観的な評価が下ることになります。結果は公開され、その後の学部への評価、受験者動向、存学生の意識、その他諸々に多大な影響を与えることになります。教職員一同、六回生への指導を強めるとともに、祈るような気持ちで日々を送っています。来年以降、毎春、正確には三月の一ヶ月間、薬学部は異様な緊張感に包まれることになります。

薬剤師国家試験の結果は、三月末に新聞などを通じて発表されます。皆様方の後輩、化友会会員としては少し変わり種の「薬剤師」という肩書きを持つ後輩が何人生まれたか母校に誕生した薬学部が立命館の名に恥じない力を示せたか、少しご興味を抱かれてお見守り頂ければ幸いです。また、晴れて「薬剤師」になれた卒業生、予定ではゼロですが不幸にしてなれなかつた場合も、化友会会員として暖かく迎え入れて頂けますようお願いいたします。

## 会員だより

# ボテンシヨスタッフと電極と私

私は四回生と大学院の三年間、電気分析化学生研究室の白石晴樹教授で表面処理関連の仕事を携わっており、今年で五年目にになります。表面処理と言つても、主に電気めつき・電鋳（めつきの厚付けを行い、製品を作る方法）に関する研究開発を行っています。めつき製品は、皆様の身の周りでも多く利用されており、例えば、ネックレス等のアクセサリー、ネジや水洗道具、パソコンあるいはスマートフォンの中の微細電気配線などがあります。私の所属する研究室では、環境負荷の少ない新規めつき液の開発や新規高機能を有するめつき・電鋳技術の開発を目指しています。今でも白石研究室のお家芸、「ポテンショスタットと電極」と格闘しておりますが、学生時代と似たような日々を過ごしています。



# 観衆を魅了する技を求めて

立命館大学応援団  
チアリーダー部

コーチ 荒川香那恵



着くことができました。

学生達が大きな怪我や試練を乗り越えて進化し続け、その活動を支えてくださった関係者の方々の思いが一つになった瞬間でした。

今回の講演では、ここまで歴史を振り返り、学生とのコミュニケーションを中心に、応援団チアリーダー部の活躍を皆様にご紹介させて頂きました。



二〇一二年、創部三十六年目に突入した立命館大学応援団チアリーダー部は、本学園の学友会中大事業団体として、学内外様々な舞台で活動させて頂いています。

二〇〇一年（創部二十六年目）より『応援と競技の両立』を掲げ競技会にも出場し始めて十年目の二〇一一

年、大学部門全国三位（総出場チーム七十一まで辿り

競技チアへの挑戦は、学生達自身が負けることの悔しさ、勝つことの喜びを知り、チームのなかで何ができるかを体験する重要な機会です。そして、応援団は、学生や学園関係者が何かに挑戦していることを応援します。

競技チアへの挑戦は、学生達自身が負ることの悔しさ、勝つことの喜びを知り、チームのなかで何ができるかを体験する重要な機会です。そして、応援団は、学生や学園関係者が何かに挑戦していることを応援します。

私は、応援団チアリーダー部の

コーチとして、学生達が人を中心の活動を日本一のチアリーダーが応援する』そんな瞬間に出会えたらと思いつきを続けています。歴史ある強豪校や新たなライバル校が現れる中、私達は、一度辿り着いた場所の維持と、頂点へ向けてのさらなる進化を目標に、目標の場所に辿り着くためにどうすれば良いのかを考え、時にはぶつかり合い、答えを探し求めています。

応援歌

作詞 白井道造  
作曲 高橋 半

一、空はさながら青春の

胸の雄団の象なり

溢るる力示すべく

えんじの旗をなびかせて

堂々勝を争わん

グレーター立命

グレーター立命

グレーター立命

四、心と身を鍛え上げ

清き健児の火を吐きぬ

秋に放たん大ゲーム

「R」の手旗うちふるい

雄たけびおくる応援団

グレーター立命

グレーター立命

グレーター立命



# 定年退職にあたつて



白 石 晴 樹

(昭和四十七年卒)

私は、一九八〇年三月に理工学部化学科助手として任用されまして、三十三年間立命館大学の教員として務めさせていただきました。その前に、私は大学紛争真只中の一九六八年立命館大学に入学し、一九八〇年三月に大学院を修了（その間に大学を離れている期間少々）していますので、私の人生の三分の二を立命館大学で過ごさせていただいたことになります。

長いと感じたことはなかったのですが、今年三月に定年退職者の集いがあった時、ご定年になられる同世代の教職員の皆様のお顔を拝見したときに立命での時間の長さを実感しました。

振り返ってみると、記憶に残っている立命館の思い出は、時間の経過とともに鮮明に残っているよう気がします。私の入学式は、かつての広小路キャンパス研心館四階の大講義室（一九六九年の一月には、全共闘と大学の団体交渉があつた室です）。でしたが、末川総長のお話は全く記憶に残っていないのに、その時の情景は今でも鮮明に残っています。その後の記憶も今年の三月の時点に至るまで、ある瞬間の部分的な記憶は鮮明に残ってはいるのですが、それぞの間の時間空間が飛んでいるために、入学式がつい先日だったり過ぎてとても簡単にご紹介できません）。三十三年前には、理工学部化学科が今日のような生命科学部・薬学科へと発展してしまった。白石先生のご入学当時を知らない間に増加、大きな組織へと発展していく間に、四十多年の記憶を辿つても直ぐに終わってしまうような気もありますが、実は、都合の悪いことを全て記憶から消し去つて良くなります。

二〇二〇年度までには更に改革が進み、立命館が社会のニーズに応える大学へと発展すると期待しておりますが、立命化友会の変遷は、私の記憶の中のかなりの部分をしめています。

助手になって一年ほどたつた時に各研究室の同窓会を統合して化学科同窓会を結成する計画がも

空間が歪んでしまいますが断片的にとても鮮明に残っているよう気がします。私の入学式は、かつての広小路キャンパス研心館四階の大講義室（一九六九年の一月には、全共闘と大学の団体交渉があつた室です）。でしたが、末川総長のお話は全く記憶に残っていないのに、その時の情景は今でも鮮明に残っています。その後の記憶も今年の三月の時点に至るまで、ある瞬間の部分的な記憶は鮮明に残ってはいるのですが、それぞの間の時間空間が飛んでいるために、四十多年の記憶を辿つても直ぐに終わってしまうような気もありますが、実は、都合の悪いことを全て記憶から消し去つて良いことだけを残しているのかもしれません。勿論、創設三十周年を迎える立命化友会の変遷は、私の記憶の中のかなりの部分をしめています。

されて、現在の「立命化友会」が発足し、学生数が化学科同窓会当たり四倍以上になり会員数も急激に増加、大きな組織へと発展していく間に、四十多年の記憶を辿つても直ぐに終わってしまうような気もありますが、実は、都合の悪いことを全て記憶から消し去つて良いことだけを残しているのかもしれません。勿論、創設三十周年を迎える立命化友会の変遷は、私の記憶の中のかなりの部分をしめています。

ち上がり、二年ほどの準備期間を経て発会に至りました。当時の化学科の先生方や卒業生の皆さんのが尽力で開催された衣笠キャンパスでの発会式や、そのときの第一次総会で故石原様が素晴らしい議長を務められた様子もよく記憶しております。それから十年が過ぎることになりました。そして、六年前に生命科学部・薬学部が設置され、現在の「立命化友会」が窓会」は新設の生物工学科を加えて、「応化会」として再スタートすることになりました。そして、六年前に生化学部・薬学部が設置され、現在の「立命化友会」が窓会」は新設の生物工学科を加えて、「応化会」として再スタートすることになりました。そして、六年前に生化学部・薬学部が設置され、現在の「立命化友会」が

白石晴樹先生は、二〇一三年三月末をもって定年により、ご退職になられました。白石先生お疲れ様でした。

先生の本学との関わりは一九六八年四月の化学科ご入学にさかのぼると思われます（残念ながら先生のご入学当時を知らない間に過ぎてとても簡単にご紹介できません）。三十三年前には、理工学部・薬学科が今日のような生命科学部・薬学科へと発展するとは私には到底想像できませんでしたが、恐らく誰もが想像していなかつた変貌ぶりだと思います。

一方、今年の春卒業した学生からは「あの白石君がもう定年か？ われわれも年とったなあ」と思われるでしょう。一方、今年の春卒業した学生からは「ダンディですか先生として慕われてこられたのは言うまでもありません。学内的主要役職も数えきれないほど多數ですので割愛させてもらいます。研究だけではなく大学の運営にもずいぶん貢献されてこられました。同窓会でも化学科同窓会の設立当初からの重要

# 白石晴樹先生の 御定年退職にあたつて

応用化学科教授

澤 村 精 治

(昭和四十九年卒)

メンバーであることは皆さんご存じの通りです。白石先生なしには立命化友会は成り立ちません。

成り立たないと言えば、もう一つ、衣笠キャンパス時代の化学科ではなぜか「パソコンがすべてNEC製でソフトは『太郎』だったり過ぎてとても簡単にご紹介できません」。三十三年前には、理工学部・薬学科が今日のような生命科学部・薬学科へと発展するとは私には到底想像できませんでしたが、恐らく誰もが想像していなかつた変貌ぶりだと思います。

先生の本学との関わりは一九六八年四月の化学科ご入学にさかのぼると思われます（残念ながら先生のご入学当時を知らない間に過ぎてとても簡単にご紹介できません）。三十三年前には、理工学部・薬学科が今日のような生命科学部・薬学科へと発展するとは私には到底想像できませんでしたが、恐らく誰もが想像していなかつた変貌ぶりだと思います。

一方、今年の春卒業した学生からは「あの白石君がもう定年か？ われわれも年とったなあ」と思われるでしょう。一方、今年の春卒業した学生からは「ダンディですか先生として慕われてこられたのは言うまでもありません。学内的主要役職も数えきれないほど多數ですので割愛させてもらいます。研究だけではなく大学の運営にもずいぶん貢献されてこられました。同窓会でも化学科同窓会の設立当初からの重要

性がありましたが、本当に長時間ありがとうございました。

最後になりましたが、本当に長い間ありがとうございました。本当に長い間ありがとうございました。本当に長い間ありがとうございました。

今春から白石先生は特任教授として本学で活躍されています。白石先生、これからもよろしくお願い申上げます。

ボウリング場経営四十一年

吉崎敬二（昭和四十年卒）

今年は当社が昭和四十七年五月に浜松市内有玉南町にボウリング場を開場して四十一年になりました。昭和四十年代、ボウ

に市内に二号店、平成六年に掛川市に三号店を開場しました。平成十年頃から日本経済の停滞とともに現在まで十数年

の使命は顧客の創造である」の実行しか生き残る道はありません。当社は現在も毎月、ボーラーの育成のためLTBというアメリカで開発されたプログラムで毎回二十九名のシニアのためのボウリングスクールを開催しています。今後もこれを当社の最大戦略としていきます。

最近浜松市にも開業した全国チェーンのセンターが毎日朝まで営業し、健全なレクレーションであるべきボウリングがこれで良いのかと疑問に思います。私は長年ボウリングの健全な発展を旗印に努力してきましたので残念でなりません。ファミリー・ボ

れました。その後は過当競争により、壊滅的な不況を経験し、浮沈の激しい事業の代名詞としてよく取り上げられました。殆どのボウリング場が廃業しましたが昭和五十三年ころから徐々に人気を回復し新しいボウリン

業績は微凋状態で、数年前より全国チーンの企業が一箇所開場しましたが、昨年は二箇所の既存センターが廃業しました。

の使命は顧客の創造である」の実行しか生き残る道はありません。当社は現在も毎月、ボーラーの育成のためLTBというアメリカで開発されたプログラムで毎回二十九名のシニアのためのボウリングスクールを開催しています。今後もこれを当社の最大戦略としていきます。

私の楽器は小生とほぼ同年齢の仏製バイオリンを始め世界各国の楽器七丁持っています。取り換え、引き換え弾いて楽しんでいます。今年七月五日からライオンズクラブの国際大会がドイツのハンブルグであります。



が小生の仕事ですが、この孫はバイオリンを全く練習しませんので、音感とリズムの勉強を主にしてい

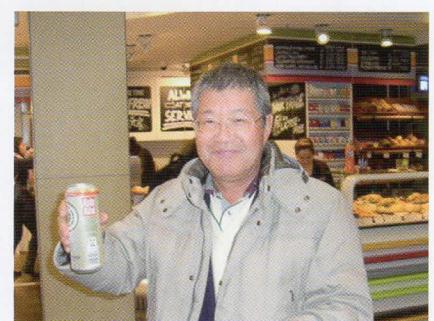
鈴木啓三先生で、難解な物理化学の度の問題を今も思い出します。お世話を先生方に全てに御礼を申し上げます。

ウリング、スポーツボウリングを発展させ  
今後も地域社会、国民からも健康産業とし  
て支持されるよう努力いたします。

その際にも  
独製のバイ  
オリンを購

A person stands in front of a bakery counter. The counter is filled with various breads and pastries displayed on shelves. A menu board is visible above the counter.

小生日本ボウリング場協会 浜松東法人  
会、浜松商工会議所、二つの社会福祉法人  
等の役職を務めており、昨年秋には古希と  
同時に名古屋国税局長の納税表彰も頂きました。  
した。現在立命館科学技術協会の末席に在籍し、  
昨年までは本学静岡県校友浜松会の  
会長役を仰せつかり、毎年新年会には本学  
の長田理事長、本郷副総長、はじめ谷口、  
安斎、加地他の諸先生方そして校友課の皆  
様をお招きし音楽会、講演会等を開催して  
きました。今後も大学の発展のため微力を  
尽くしてまいります。皆様のご支援をお願  
い致します。



写真はフランクフルト空港で一杯です。

## 故 岩崎先生を偲ぶ

田渕 光春

(平成元年卒)



岩崎先生とは、

四回生の卒業研究と修士課程において指導教官としてお世話をになりました。当時の研究テーマは、窒化チタンウイスカ（ひげ状結晶）の合成の研究で、今まで研究室で取り組んだこれまでのない新しいテーマとして頂きました。合成できる保証はなかつたものの、金色のウイスカがができるということでわくわくしながら取り組みました。研究室では、先生は朝早くから研究室にこもられ、自ら先頭に立ててこやかなお顔で物作りをされているのが印象に残っています。幸いフッ化チタンカリウムを出発物質として窒素気流中熱処理を行うと、黒鉛ボート上に目的の金色のウイスカーが生成することがわかり、そのときは非常にうれしかった。先生にも喜んで頂けたと思っている。このときの経験がその後、研究の道に進むきっかけになり、物作り研究者となることが自分に最もふさわしいものであると確信できましたと思っています。

このような考えに至ったのはひとえに物作りに対する先生の真摯な姿勢と、研究室での丁寧なご指導のおかげであり、ご指導に感謝するとともに、先生のご冥福をお祈りいたします。

## 振り返れば幸運に恵まれて

木村嘉勝（昭和四十三年卒）

企画運営委員会  
委員長 伴野清

（昭和四十二年卒）



卒業研究は、有機化学研究室（渡辺明教授、中村尚武助手）で、当時は自由な雰囲気の中で深夜まで仲良く楽しく地道な実験等を繰り広げ、化学の基礎研究の一端を垣間見ました。某会社に就職して生産技術の分野で仕事をしていましたが、経営不振で会社が吸収合併されたことなどから、将来に絶望して深く悩んでいました。偶然、滋賀県庁の正門の掲示板に「労働基準監督官採用試験の案内」を見つけ、今の境遇から抜けたいとの一念で即座に受験を決意し、会社勤務しながら猛勉強して合格し、労働基準監督署に採用（昭和四十五年）される幸運に恵まれました。その年に国家公務員上級職甲種（化学）にも合格し、労働本省に転勤となり、労働安全衛生法制定の立法作業や予算編成の激務を担当していました。在職中は、国政の中枢で貢献できる立場にいる幸運に感謝しながら、情熱と

勇気をもって仕事を追っていました。産業安全衛生分野で多くの関係法令改正、政策の企画等を担当しましたが、専門の化学関係で担当した政策の例としては、化学物質等安全データーシート（SDS）の譲渡時の交付の義務づけ、日本バイオアッセイ研究センターの設立、職場の喫煙対策指針の公表等があります。平成十三年に退職して関係団体の役員になりましたが、はからずも「秋の園遊会」にご招待を賜る幸運を区切りに郷里（滋賀県）に帰り、京都で勤務の後にフリーとなり、過去の経験等を生かした仕事、地域社会の役員等をして平和な日々を送っています。

今年の国家公務員総合職に立命館大学出身者は二十人合格していますが、例年、各省政府の採用実績は厳しいようです。選考試験を担当してきた経験では「この省庁で国政に尽くしたい」という「誰にも負けない強い熱意と一念」を心に決めて臨むことが大切です。最後に、誰しも迎える退職は「桜のように綺麗に散る」よりも「バラのよう

に茎に残つて徐々に色あせつつ生き延びる」の心身の健康にも良いようです。

（温泉研究会幹事）

## 会員だより

## 企画運営委員会報告

日頃は、立命化友会会員の皆様方の交流と親睦を図るための各種企画の運営にご協力をいただき、有難うございます。

さて、今年度も幹事の方々にお世話いたしました。なお、「釣り天狗クラブ」のイベントは平成二十五年九月二十二日（日）に開催される運びとなつております。

また、本年度は「特別企画セミナー」と題し、本学応援団チアリーダー部コーチに講演をお願いすると共に、部員の方々をお招きして、即席ステージでの見事なパフォーマンスを披露していただきました。

今年は立命化友会として活動して、早や一年を経過しました。今後、会員数も益々増えていますので、皆様方のご協力をいただきながら、より一層充実した企画運営を続けてまいる所存です。

それぞれの開催案内は、事務局からお送りしておりますので、参加ご希望の方は、お気軽に事務局までご一報下さいますようお願いいたします。

## 「企画運営委員会の開催」

平成二十五年二月二十四日（日）

立命館朱雀キャンパスにおいてこれまでの総括と今後の活動について打ち合わせを行い、テーマに柔軟性をもたせた特別企画セミナーとしての存続を確認しました。

## 特別企画セミナーの開催

平成二十五年二月二十四日（日）

本年度は少し趣向を変えて「観衆を魅了する技を求めて」と題して、応援団チアリーダー部コーチの荒川香那恵氏の講演並びに選手有志の皆様によるパフォーマンスの披露をお願いしました。

選手の皆様によるパフォーマンスは、タイトル通りの「魅了する技」をご披露いただき、新たに感動と元気をもらつたようになります。最後に「グレーター立命」をチアリーダー指揮のもと全員で意気高く合唱して、エンディングとなりました。応援団チアリーダー部の皆様、有難うございました。（詳細は本号三ページ）。

## 第二十九回 ゴルフ・懇親会

平成二十四年十月二十五日（木）

幹事の三上正勝様・西村定様にお世話いたさり、好天に恵まれた秋空の中、日野ゴルフクラブにおいて開催されました。当日は十三名の方にご参加いただき、親交を暖めることができました。競技方法は新ペリニア方式で行い、河村善雄様が優勝されました。おめでとうございます。

## 第三十回 ゴルフ・懇親会

平成二十五年三月二十八日（木）

三上正勝様・西村定様にお世話いただき、しだれ桜が満開の宇治カントリークラブで開催され、十四名の方に参加いただきました。前回に引き続き河村善雄様が優勝されました。おめでとうございます。桜満開の

## 第二十五回 ハイキング

平成二十四年十一月二十五日（日）

木全豊和様に幹事をお願いし、「山の辺の道II」ハイキングが絶好の日和に恵まれ開催されました。

参加者九名、JR奈良・JR柳本・環濠集落

→夜都伎神社→内山永久寺跡→石上神宮→櫻本→奈良の十二kmのコースを楽しく散策した後、大阪王将にて打ち上げ懇親会を行ない大いに盛り上がりました。



第 25 回ハイキング

## 第二十六回 ハイキング

平成二十五年四月二十一日（日）

木全豊和様に幹事をお願いし、参加者八名が、JR奈良・新薬師寺・白毫寺・円照寺→正暦寺・弘仁寺・森本・JR奈良の十五kmのハイキングに挑戦しました。峠越えなど



第 26 回ハイキング



第 30 回ゴルフ懇親会

## 第五回温泉研究会幹事会

平成二十五年七月八日（月）

温泉研究会副会長の奥野年秀様の幹事により、京都市立宇多野ユースホステルにおいて幹事会・懇親会が開催されました。病氣療養から復帰された会長の石井猛様の温泉に関する研究成果の発表を始め、本年度の総会を十・十一月に岡山県内の温泉地にて開催することなどが決定されました。ゆっくり温泉につかり、おいしいお料理を・・・皆様のご参加をお待ちしております。



温泉幹事会

一部きついところがあつたものの、八重桜や咲き始めの藤などを眺め談笑しながら楽しく歩くことができました。疲れは懇親会で吹き飛んだようです。

## 新任の先生から一言

桂 敏也 先生

田中 秀和 先生



本年四月より薬学部教授として着任いたしました。専門分野は医療薬剤学、薬物動態学で、薬物の体内動態、薬効・副作用発現における薬物トランスポーターの役割を中心で研究を行っています。前任地の臨床現場で得た経験と知識を活かして本学での教育・研究に貢献したいと考えております。皆様のご指導、ご鞭撻のほど、宜しくお願ひ申し上げます。



幹細胞生物学および再生医学で、iPS細胞形成（初期化）や、心筋細胞分化に関する分子機構の解明を目指し研究しております。生命科学部の発展に貢献できますよう、教育・研究に一層精進を致す所存です。皆様のご指導ご鞭撻のほどよろしくお願ひ申し上げます。

出することを目標としています。じつもよろしくお願いします。



本年四月より生命科学部生命医科学科教授として着任いたしました。専門分野は神経化学、薬理学です。神経回路の成り立ちに細胞接着分子が関与するメカニズムと、環境からの刺激で神経回路が構造を変え、脳の機能をチューニングする過程に興味をもって仕事をしています。これからもご指導ご鞭撻の程などよろしくお願ひ申し上げます。

略歴 一九八九年 大阪大学医学部卒業。一九九五年大阪大学大学院医学系研究科卒、同年大阪大学医学部助手、二〇一二年現職。

略歴 一九八九年大阪大学医学部卒、一九九五年大阪大学大学院医学系研究科卒、同年大阪大学医学部助手、二〇一二年現職。

略歴 一九八九年大阪大学医学部卒、一九九五年大阪大学大学院医学系研究科卒、同年大阪大学医学部助手、二〇一二年現職。

川村 晃久 先生

\*\*\*\*\*

竹田 篤史 先生

\*\*\*\*\*

浅井 智広 先生

\*\*\*\*\*

准教授として着任いたしました。専門は、本年四月より生命科学部生命医科学科に

准教授として着任いたしました。専門は、本年四月より生物工学科の准教授としてルス病を専門にしています。分子生物学的手法を利用してウイルス病に強い植物を作ります。

\*\*\*\*\*

略歴 一九八九年大阪大学医学部卒、一九九五年大阪大学大学院医学系研究科卒、同年大阪大学医学部助手、二〇一二年現職。

略歴 一九九九年 京都大学農学部生物生産科学科卒業。二〇〇四年京都大学大学院農学研究科応用生物科学専攻（植物病理学研究室）修了、博士（農学）。二〇〇五年日本学术振興会特別研究員（東京大学・アメリカ合衆国オレゴン州立大学）。二〇〇八年 日本学术振興会海外特別研究員（オレゴン州立大学）。二〇〇九年 海外特別研究員（アメリカ合衆国オレゴン州立大学）。二〇〇九年 東京大学教養学部生命認知科学科助教。二〇一三年 立命館大学生命科学部生物工学科准教授。

"If I have been able to see further, it was only because I stood on the shoulders of giants." - Isaac Newton

ニュートン先生を乗せられる肩をもつた巨人になれるようにならんばりたいと思

多くの人との出会いを大事にし、本学に貢献できるよう日々向上心を持つて研究活動や教育に取り組む所存です。皆様のご指導・ご鞭撻のほどよろしくお願ひいたします。

生命科学部に貢献できるよう努めてまいりたいと存じます。どうぞよろしくお願ひいたします。

を機に糖鎖生物学およびオミクス研究の立ち上げを考えています。

育・研究にお役に立てるよう精一杯努力する所存です。皆様のご指導・ご鞭撻の程、よろしくお願ひ申し上げます。



金子  
こうすけ  
光佑先生

\*\*\*\*\*



小島  
こじま  
寿夫先生

\*\*\*\*\*



下畑  
しもはた  
宣行先生

**略歴**  
二〇〇五年に神戸大学理学部生物学科を卒業、二〇一〇年に大阪大学大学院理学研究科生物科学専攻博士課程を修了し、博士（理学、大阪大学）を取得。二〇一一年四月から日本学術振興会特別研究員PDとして名古屋大学大学院理学研究科で研究し、二〇一三年四月から立命館大学生命科学部生命情報学科助教。

本年四月より生命科学部応用化学科助教として着任いたしました。現在は液晶を用いた新規機能性材料の開発を目指し、研究に取り組んでおります。

本年四月より生命情報学科に助教として着任いたしました。専門は、セラミド型脂質（特にスフィンゴ糖脂質）の構造解析を軸とした脂質生化学ですが、本学への着任

**略歴** 二〇〇七年三月 立命館大学

学大学院理工学研究科総合理工学専攻博士課程後期課程修了 博士（工学）。二〇〇七年四月 立命館大学理工学部 研究生・非常勤講師。二〇〇八年四月 フランス国立科学研究所 特任助教。二〇一三年四月 立命館大学生命科学部 助教。

**略歴** 二〇一一年三月 立命館大学大学院理工学研究科博士後期課程修了「博士（理学）」。二〇一二年四月～二〇一三年三月 東海大学糖鎖科学研究所 特定研究員。二〇一三年四月 立命館大学生命科学部 助教。



高橋  
たかはし  
文雄先生

\*\*\*\*\*



本年四月より、生命科学部生命医学科に助教として着任いたしました。現在は、プロテオミクス解析によるリボソーム機能の解明をテーマとして研究を行っております。大学だけでなく、企業での研究経験もありますので、それらを基にして本学の教

今年度から生物工学科の助教として着任した高橋文雄です。学生時代から植物、特に藻類の光環境と光感受の研究をしてきました。滋賀は琵琶湖がありますので、湖の藻類など採集し新たな研究がはじめられれば良いかなと思っております。実験室内とフィールドを融合した研究を学生とともに行っていきたいと考えております。

**略歴** 東北大学農学研究科博士課程修了（二〇〇〇）

理化研究所（一〇〇〇一～一〇〇一）  
東京都立大学（一〇〇五～一〇〇六）  
東北大大学（一〇〇六～一〇一〇）で

ポスドク

科学技術振興機構さきがけ専任研究員（二〇一〇～現在兼任）

永井哲郎先生



藤本和士先生



二〇一三年三月名古屋大学大学院理学研究科物質理学専攻博士後期課程修了、博士（理学）

二〇一三年四月より立命館大学生命科学部助教

**竹田有加里先生**



**才木康彦先生**



本年四月より生命科学部生命情報学科に特任助教として就任致しました。専門分野は電気生理学です。これまでの実験研究やシミュレーション研究の経験を活かし、生体機能の総合的な解明ばかりではなく、真に医療向上へと繋がる生命情報学的研究を積み重ねていきたいと考えております。教育にも力を注ぐ所存ですので、ご指導・ご鞭撻のほど、宜しくお願ひ致します。

**略歴** 二〇〇七年十二月 ネバダ州立大学大学院医学研究科・生理学・細胞生物学専攻 博士課程修了、博士（理学）二〇〇七年九月 ワシントン州立大学シアトル校・生理生物学部ポスドク研究員

二〇一〇年三月 京都大学・医学部 糖尿病栄養内科 特定助教  
二〇一二年四月 立命館大学・R-I GIROポストドクトラルフェロー  
二〇一三年四月 立命館大学・生命科学部生命情報学科特任助教。

**略歴** 一九七三年三月 名古屋衛生技術短期大学衛生技術学科卒業  
一九七三年四月（株）神戸製鋼所 神鋼病院入社  
一九八一年四月 神戸市立医療センター中央市民病院 臨床検査技術勤務  
二〇一三年四月 兵庫県立尼崎病院 中央検査室 勤務  
二〇一三年四月 本学薬学部 着任

本年四月より薬学部助教として着任しました。分子動力学計算と呼ばれるシミュレーション手法を用いて、生体関連分子の構造・物性の研究を行っております。

本学におきまして、研究・教育に全力で取り組む所存ですので、皆様のご指導、ご鞭撻の程、よろしくお願ひいたします。

本年の四月に生命科学部助教として着任いたしました。分子動力学シミュレーションを用いた生体分子の解析を専門分野にしています。また、分子動力学シミュレーションで用いられる強力な拡張アンサンブル法に関する手法開発も行って参りました。

至らぬ点もあるかとは存じますが、ご指導・ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願ひします。

略歴 東北大学農学研究科博士課程修了（二〇〇〇）

理化研究所（一〇〇〇一～一〇〇一）  
東京大学（一〇〇五～一〇〇六）  
東北大大学（一〇〇六～一〇一〇）で

ポスドク

科学技術振興機構さきがけ専任研究員（二〇一〇～現在兼任）

永井哲郎先生



藤本和士先生



二〇一三年三月名古屋大学大学院理学研究科物質理学専攻博士後期課程修了、博士（理学）

二〇一三年四月より立命館大学生命科学部助教

**竹田有加里先生**



**才木康彦先生**



略歴 東北大学農学研究科博士課程修了（二〇〇〇）

理化研究所（一〇〇〇一～一〇〇一）  
東京大学（一〇〇五～一〇〇六）  
東北大大学（一〇〇六～一〇一〇）で

ポスドク

科学技術振興機構さきがけ専任研究員（二〇一〇～現在兼任）

永井哲郎先生



藤本和士先生



二〇一三年三月名古屋大学大学院理学研究科物質理学専攻博士後期課程修了、博士（理学）

二〇一三年四月より立命館大学生命科学部助教

**竹田有加里先生**



**才木康彦先生**



略歴 東北大学農学研究科博士課程修了（二〇〇〇）

理化研究所（一〇〇〇一～一〇〇一）  
東京大学（一〇〇五～一〇〇六）  
東北大大学（一〇〇六～一〇一〇）で

ポスドク

科学技術振興機構さきがけ専任研究員（二〇一〇～現在兼任）

永井哲郎先生



藤本和士先生



二〇一三年三月名古屋大学大学院理学研究科物質理学専攻博士後期課程修了、博士（理学）

二〇一三年四月より立命館大学生命科学部助教

**竹田有加里先生**



**才木康彦先生**



略歴 東北大学農学研究科博士課程修了（二〇〇〇）

理化研究所（一〇〇〇一～一〇〇一）  
東京大学（一〇〇五～一〇〇六）  
東北大大学（一〇〇六～一〇一〇）で

ポスドク

科学技術振興機構さきがけ専任研究員（二〇一〇～現在兼任）

永井哲郎先生



藤本和士先生



二〇一三年三月名古屋大学大学院理学研究科物質理学専攻博士後期課程修了、博士（理学）

二〇一三年四月より立命館大学生命科学部助教

**竹田有加里先生**



**才木康彦先生**



略歴 東北大学農学研究科博士課程修了（二〇〇〇）

理化研究所（一〇〇〇一～一〇〇一）  
東京大学（一〇〇五～一〇〇六）  
東北大大学（一〇〇六～一〇一〇）で

ポスドク

科学技術振興機構さきがけ専任研究員（二〇一〇～現在兼任）

永井哲郎先生



藤本和士先生



二〇一三年三月名古屋大学大学院理学研究科物質理学専攻博士後期課程修了、博士（理学）

二〇一三年四月より立命館大学生命科学部助教

**竹田有加里先生**



**才木康彦先生**



略歴 東北大学農学研究科博士課程修了（二〇〇〇）

理化研究所（一〇〇〇一～一〇〇一）  
東京大学（一〇〇五～一〇〇六）  
東北大大学（一〇〇六～一〇一〇）で

ポスドク

科学技術振興機構さきがけ専任研究員（二〇一〇～現在兼任）

永井哲郎先生



藤本和士先生



二〇一三年三月名古屋大学大学院理学研究科物質理学専攻博士後期課程修了、博士（理学）

二〇一三年四月より立命館大学生命科学部助教

**竹田有加里先生**



**才木康彦先生**



略歴 東北大学農学研究科博士課程修了（二〇〇〇）

理化研究所（一〇〇〇一～一〇〇一）  
東京大学（一〇〇五～一〇〇六）  
東北大大学（一〇〇六～一〇一〇）で

ポスドク

科学技術振興機構さきがけ専任研究員（二〇一〇～現在兼任）

永井哲郎先生



藤本和士先生



二〇一三年三月名古屋大学大学院理学研究科物質理学専攻博士後期課程修了、博士（理学）

二〇一三年四月より立命館大学生命科学部助教

**竹田有加里先生**



**才木康彦先生**



略歴 東北大学農学研究科博士課程修了（二〇〇〇）

理化研究所（一〇〇〇一～一〇〇一）  
東京大学（一〇〇五～一〇〇六）  
東北大大学（一〇〇六～一〇一〇）で

ポスドク

科学技術振興機構さきがけ専任研究員（二〇一〇～現在兼任）

永井哲郎先生



藤本和士先生



二〇一三年三月名古屋大学大学院理学研究科物質理学専攻博士後期課程修了、博士（理学）

二〇一三年四月より立命館大学生命科学部助教

**竹田有加里先生**



**才木康彦先生**



略歴 東北大学農学研究科博士課程修了（二〇〇〇）

理化研究所（一〇〇〇一～一〇〇一）  
東京大学（一〇〇五～一〇〇六）  
東北大大学（一〇〇六～一〇一〇）で

ポスドク

科学技術振興機構さきがけ専任研究員（二〇一〇～現在兼任）

永井哲郎先生



藤本和士先生



二〇一三年三月名古屋大学大学院理学研究科物質理学専攻博士後期課程修了、博士（理学）

二〇一三年四月より立命館大学生命科学部助教

**竹田有加里先生**



**才木康彦先生**



略歴 東北大学農学研究科博士課程修了（二〇〇〇）

理化研究所（一〇〇〇一～一〇〇一）  
東京大学（一〇〇五～一〇〇六）  
東北大大学（一〇〇六～一〇一〇）で

ポスドク

科学技術振興機構さきがけ専任研究員（二〇一〇～現在兼任）

永井哲郎先生



藤本和士先生



二〇一三年三月名古屋大学大学院理学研究科物質理学専攻博士後期課程修了、博士（理学）

二〇一三年四月より立命館大学生命科学部助教

**竹田有加里先生**



**才木康彦先生**



略歴 東北大学農学研究科博士課程修了（二〇〇〇）

理化研究所（一〇〇〇一～一〇〇一）  
東京大学（一〇〇五～一〇〇六）  
東北大大学（一〇〇六～一〇一〇）で

ポスドク

科学技術振興機構さきがけ専任研究員（二〇一〇～現在兼任）

永井哲郎先生



藤本和士先生



二〇一三年三月名古屋大学大学院理学研究科物質理学専攻博士後期課程修了、博士（理学）

二〇一三年四月より立命館大学生命科学部助教

**竹田有加里先生**



**才木康彦先生**



略歴 東北大学農学研究科博士課程修了（二〇〇〇）

理化研究所（一〇〇〇一～一〇〇一）  
東京大学（一〇〇五～一〇〇六）  
東北大大学（一〇〇六～一〇一〇）で

ポスドク

科学技術振興機構さきがけ専任研究員（二〇一〇～現在兼任）

永井哲郎先生



藤本和士先生



二〇一三年三月名古屋大学大学院理学研究科物質理学専攻博士後期課程修了、博士（理学）

二〇一三年四月より立命館大学生命科学部助教

**竹田有加里先生**



**才木康彦先生**



略歴 東北大学農学研究科博士課程修了（二〇〇〇）

理化研究所（一〇〇〇一～一〇〇一）  
東京大学（一〇〇五～一〇〇六）  
東北大大学（一〇〇六～一〇一〇）で

ポスドク

科学技術振興機構さきがけ専任研究員（二〇一〇～現在兼任）

永井哲郎先生



藤本和士先生



二〇一三年三月名古屋大学大学院理学研究科物質理学専攻博士後期課程修了、博士（理学）

二〇一三年四月より立命館大学生命科学部助教

**竹田有加里先生**



**才木康彦先生**



## 物故者

平成24年9月1日から平成25年8月31日の間に、ご逝去の連絡を頂いた方々です。  
心よりご冥福をお祈り申し上げます。

河合	溝畠	草深	上原	島森	東浦	佐々木右八	宮川金二郎	岩崎昭一郎	和田準二	高澤	渡辺	岩崎	邦夫	高澤	岡田	藤原	原田	和田	山内	松村雄二朗	松村雄二朗	武郎	正博	兵頭	横田	山田	山田	後藤	阿部	小西	進
(昭13年卒)	(昭47年卒)	(昭36年卒)	(昭33年卒)	(昭34年卒)	(昭36年卒)	(昭32年卒)	(昭32年卒)	(昭32年卒)	(昭31年卒)	(昭32年卒)	(昭26年卒)	(昭26年卒)	(昭26年卒)	(昭27年卒)	(昭27年卒)	(昭27年卒)	(昭27年卒)	(昭25年卒)	(昭26年卒)	(昭26年卒)	(昭24年卒)	(昭23年卒)	(昭22年卒)	(昭22年卒)	(昭22年卒)	(昭19年卒)	(昭18年卒)	(昭24年)	(昭34年)	(昭34年)	
(敬称略)																															

## 立命化友会役員異動

(敬称略)

逝去

名譽会員	岩崎 弘通	(昭24年)
常任幹事	上原 正巳	(昭34年)

変更

常任幹事	退任	西原駿一郎	(昭41年)
学内幹事	新任	田中 秀和	(平25年着任)

桂 敏也	(平25年着任)
竹田 篤史	(平25年着任)

川村 晃久	(平25年着任)
高澤	(昭25年着任)

年度幹事	退任	廣瀬榮三郎	(昭32年)
新任	西村 定	佐々木 豊	(昭36年)

### 【幹事】

田中 秀明

T a w a w a 一條店

京都市中京区西ノ京朱雀町一番地

【日時】  
1101四年二月二十一日(土)  
十七時～十九時

### 【開催予定場所】

立命館大学朱雀キャンパス七丁

元立木研究室(元生物化学研、元生物化  
学II研、元応用微生物学研)同窓会のご  
案内

## クラス会案内

立命化友会は今年で二年目となりますが、  
その源流となる化学科同窓会は一九八三年  
に設立され、三十年目を迎えました。これ  
を記念して、設立三十周年事業の開催を来  
年七月に予定しております。内容につきま  
しては現在検討中ですので詳細が決まり次  
第別途みなさまにご案内をさせていただき

## 事務局だより

普段、お会いできない先生に会えるチャン  
スです。

奮ってのご参加をお待ちしております!

※クラス会(卒研・同期会)について、前もつ  
て行事を立てられている方は案内文を立  
命化友会ニュースへ掲載いたしますので  
会活動の展開を願います。

(金川)

## 編集後記

二〇〇八年度に生命科学部と薬学  
部が発足し、1101四年三月に薬学部  
から一期生が卒業いたします。この間  
に生命科学部同窓会の名称が「立命化  
友会」と決定され、そして来年同窓会設  
立三十周年事業に向かって取り組ん  
でまいります。

国内では山中伸弥氏がIPS細胞  
でノーベル医学生理学賞を受賞され  
ました。衆議院選で自民が圧勝し、ア  
ベノミクスを打ち出しました。この六  
月には富士山と三保の松原を含め世界  
文化遺産に登録され、加えて1101〇  
年東京オリンピックが決定しました。  
各会員の皆様、同好会行事へ積極的  
に参加頂き、お互いに情報交換等のコ  
ミュニケーションを計り活発な同窓  
会活動の展開を願います。

## 立命化友会 2012年度事業報告

I. 諸事業	
1) 2012年3月卒業生名簿作成	2012年 5月
2) 在校生ソフトボール大会	2012年 11月
3) 立命化友会ニュース(第1号)発行	2012年 11月 1日
4) 全会員への通信	2012年 11月
5) ゴルフ懇親会 ・第29回	2012年 10月 25日
・第30回	2012年 3月 30日
6) 卒業・修了パーティー	2013年 3月 20日
7) 立命化友会ハイキング ・第24回	2012年 4月 29日
・第25回	2012年 11月 25日
8) 釣り天狗クラブ ・第3回	2012年 5月 19日
9) 温泉研究会 ・臨時幹事会	2012年 6月 11日
10) 特別企画セミナー ・第1回	2013年 2月 24日
II. 諸会議	
1) 幹事会 ・第1回	2012年 6月 17日
・第2回	2013年 2月 24日
2) 企画運営委員会	2013年 2月 24日
3) 立命化友会ニュース編集委員会 ・第1回	2012年 7月 1日
・第2回	2012年 9月 15日
III. 支部活動	
(関東支部、東海支部、中国・四国支部)	なし

## 2012年度立命化友会決算

(単位:円)		
<b>一般会計</b>		
〈収入の部〉	<b>予算額</b>	<b>執行額</b>
前年度繰越金	911,882	911,882
応化会2011年度繰越金	2,409,308	2,409,308
会費(学生)	3,000,000	2,880,000
寄付金	10,000	295,120
雑収入	1,000	267
<b>合計</b>	<b>6,332,190</b>	<b>6,496,577 ①</b>
〈支出の部〉	<b>予算額</b>	<b>執行額</b>
事業等補助金	300,000	214,550
地域別活動推進費	250,000	0
会議費	150,000	69,133
印刷費	600,000	593,135
郵送費	700,000	625,679
人件費	1,000,000	850,438
事務局費	250,000	75,281
雑費	50,000	0
拠出金(連絡協議会へ)	150,000	140,000
在学生活動援助費	300,000	300,000
振込み手数料	10,000	3,255
予備費	2,572,190	0
<b>合計</b>	<b>6,332,190</b>	<b>2,871,471 ②</b>
次年度繰越金 (①-②)		3,625,106
<b>応化会基金(仮称)</b>		
〈収入の部〉	<b>予算額</b>	<b>執行額</b>
繰越金	4,294,169	4,294,169
<b>合計</b>	<b>4,294,169</b>	<b>4,294,169</b>
次年度繰越金		4,294,169

## 立命化友会 2013年度事業計画

I. 諸事業	
1) 2013年3月卒業生名簿作成	2013年 6月
2) 在校生ソフトボール大会	未定
3) 立命化友会ニュース(第2号)発行	2013年 11月 1日
4) 全会員への通信	2013年 11月
5) ゴルフ懇親会 ・第31回	2013年 10月 24日
・第32回	未定
6) 卒業・修了パーティー	2014年 3月 22日
7) 立命化友会ハイキング ・第26回	2013年 4月 21日
・第27回	2013年 11月 24日
8) 釣り天狗クラブ ・第4回	2013年 9月 22日
9) 温泉研究会 ・第5回幹事会	2013年 7月 8日
・第3回総会	2013年 11月 11日
10) 特別企画セミナー ・第2回	2014年 2月 23日
II. 諸会議	
1) 幹事会 ・第1回	2013年 6月 30日
・第2回	2014年 2月 23日
2) 企画運営委員会	2014年 2月 23日
3) 立命化友会ニュース編集委員会 ・第1回	2013年 6月 15日
・第2回	2013年 9月 15日
4) 同窓会設立30周年事業準備委員会 ・第1回	2013年 6月 30日
・第2回	2013年 9月 28日
III. 支部活動	
(関東支部、東海支部、中国・四国支部)	未定

## 2013年度立命化友会予算

(単位:円)	
<b>一般会計</b>	
〈収入の部〉	<b>予算額</b>
前年度繰越金	3,625,106
会費(学生)	3,690,000
寄付金	10,000
雑収入	1,000
<b>合計</b>	<b>7,326,106</b>
〈支出の部〉	<b>予算額</b>
同窓会30周年事業準備費	50,000
事業等補助金	300,000
地域別活動推進費	250,000
会議費	150,000
印刷費	800,000
郵送費	1,000,000
人件費	1,000,000
事務局費	250,000
雑費	50,000
拠出金(連絡協議会へ)	180,000
在学生活動援助費	360,000
振込み手数料	10,000
予備費	2,926,106
<b>合計</b>	<b>7,326,106</b>

## 応化会基金(仮称)

繰越金	4,294,169
<b>合計</b>	<b>4,294,169</b>